



2025年12月12日
東日本旅客鉄道株式会社八王子支社
青梅市

青梅鉄道公園リニューアルオープン概要について ～中央線・青梅線をはじめ鉄道の歴史を伝える学びの場～

- 青梅鉄道公園（東京都青梅市永山公園内）は、2023年8月より老朽化にともなうリニューアル工事のため閉園しておりましたが、このたび「中央線・青梅線をはじめ鉄道の歴史を伝える学びの場」として、2026年3月21日（土）にリニューアルオープンいたします。
 - これまで展示されていた10両に加え、中央線・青梅線で活躍していた201系をはじめ、新たな3両が公園でみなさまをお迎えします。
 - リニューアルにむけて設計、デザイン、施工監理、お楽しみコンテンツの選定や運営体制の構築などを拝島営業統括センターはじめ、JR東日本グループ等社員がゼロから創り上げました。
 - 地域の皆さんに愛される公園の一環として、青梅市をはじめ周辺自治体の皆さんと協力のうえ、社会科見学など教育カリキュラムに取り入れられるような、現役運転士・車掌やメンテナンス社員による課外授業なども今後検討していきます。
- 新たな記念館、13の展示車両とともに、青梅の地にてみなさまのお越しをおまちしております。

1. 営業概要

開園日：2026年3月21日（土）

営業時間：10:00～16:00

定休日：毎週火曜日

入園料：おとな（中学生以上）500円 小学生200円 3歳以上未就学児100円



2. 新記念館コンセプトについて

地域とともに歩み、鉄道の魅力を次世代に伝える場所として、『周辺環境との融和』や『親しみやすさ』を念頭にデザインしました。周辺の自然環境と融和できるように、建物の高さを抑えて、木調の素材を取り入れています。青梅地域の歴史と伝統にちなみ、入り口正面の外壁には「Ome Blue®」を配色しました。案内サインなどには鉄道に親しんでもらえるよう“鉄道らしさ”を取り入れています。ぜひ館内をめぐり見つけてみてください。

■建物構造 鉄骨造 平家建て

■延床面積 約 450 m²

■設置設備 授乳室、バリアフリートイレ

(オストメイト・子供トイレ対応)



3. 新たに3両の展示車両が加わります！

青梅鉄道公園にはこれまで0系新幹線をはじめ、国指定重要文化財のED16など、10両の車両が展示されていました。リニューアルにあたり、すべての展示車両には屋根を設置し、中央線・青梅線で長年にわたりみなさまに親しまれていた201系をはじめ、ED60、115系が新たに展示されます。懐かしい姿をぜひお近くでご覧ください。

201系



中央線・青梅線で活躍した通勤型車両です。首都圏では、今回展示する朱色以外に、青色やカナリア色の塗装で活躍していました。

中央線の201系は2010年10月17日豊田駅から松本駅までの団体臨時列車にて営業運転を終了したのちは、豊田車両センターで今回展示する「クハ 201-1」を保存し、一般公開イベントや撮影会イベントで公開を行っていました。

リニューアル展示に際し、大宮総合車両センターで車両外板の修繕を行い、また、公園での仕上げとして、車両前面に中央線の201系の特徴の1つである種別表示器を取り付けます。

ED60



中央本線でも活躍したことのある直流機関車で、ED16のような旧型に比べて新しい技術を導入して開発された機関車です。車体全長は13mであり、現在中央線で活躍している貨物の機関車と比べると小型です。

115系



多くのエリアで活躍した近郊型車両で、中央本線からは2015年に惜しまれつつ引退しました。地域や線区によって様々な車体塗装があり、公園では青色とクリーム色の塗装で展示をします。

4. 新たなお楽しみコンテンツを設置します！

リニューアル前のジオラマやパネル展示、屋外遊具を一新し、体験型のデジタルコンテンツや実際に鉄道運行に使われていた機器類を設置、展示します。また、屋外には自然の傾斜を活用した大型すべり台を設置して、小さなお子さまも楽しめる公園としました。

・斜面を活用した大型すべり台

0系新幹線の展示車両へむかう階段の横に、斜面を生かした幅5メートルの迫力あるすべり台を設置します。手すりのオレンジ色は、中央線と青梅線を走っていた201系カラーをイメージしました。



・JR東日本トレインシミュレータ体験（有料）

運転士が操作する機器に近い公式マスコンユニットを使用し、リアルな映像とともに本格的な運転操作を体験いただけます。



この他にも新記念館にはゆっくりと鉄道を学べるエリアや、デジタルを活かしたコンテンツの準備を進めています。

3月のリニューアルオープンに向けて、ホームページや青梅鉄道公園オリジナルキャラクターの制作をはじめ、青梅市に在住・在勤・在学の皆さんからデザインを募集したヘッドマークを掲出した電車の運行、またイベントの開催などを企画しています。詳細は決まり次第お知らせします。

「Ome Blue®(青梅ブルー)」とは青梅に住み、働き、活動するすべての方が、ロゴや色味を活用しそれぞれの立場の自由な発想で参加可能な地域プロモーションの取組みです。

青梅を訪れる観光客の方々に、至る所で「Ome Blue」に触れていただくことで、青梅の景色、商品などに興味を持っていただき、リピーターやファンになってもらいたいという想いが込められています



Ome Blue®